

各地区業況アンケート結果（2020年5月調査分）

（2020年5月22日）

全国鉄鋼販売業連合会

5月21日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率53.2%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 売上数量・金額とも約8割の企業が前年同月比減

問1】貴社の4月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	3	5	8	12	46	74	74
比率	4%	7%	11%	16%	62%	DI-126	DI-92
売上金額/前年同月比	2	4	8	12	47	73	75
比率	3%	6%	11%	16%	64%	DI-134	DI-88

2. 赤字は45%、収益状況悪化

問2】貴社の4月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	4	15	22	18	16	75	75
比率	5%	20%	30%	24%	21%	DI-36	DI+4

3. 全向け先で減少傾向、自動車向け減少目立つ

問3】貴社の営業窓口から見て5月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向			17	28	13	58	-93	-89
民間建設向			13	30	20	63	-111	-106
自動車向			4	6	25	35	-160	-141
その他需要家向			13	26	18	57	-109	-112
仲間取引			12	25	27	64	-123	-117
計			59	115	103	277	-116	-111
比率			21%	42%	37%			

4. 減少傾向、先行きも今までにない不透明感続く

問4】貴社における向う6月から8月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		1	16	26	32	75	75
比率		1%	21%	35%	43%	DI -119	DI -128

5. 全品種、在庫の過剰感全く変わらず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	品種別	A	B	C	D	E		5月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI												
6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	-31	-32	鉄筋用丸鋼			19	9	1	29	-38
-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	-27	-32	構造用丸鋼			22	3	2	27	-26
-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	-17	-26	平角鋼			25	5	1	31	-23
-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	-13	-31	H形鋼			24	8	1	33	-30
25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	-36	-29	コラム			16	7	1	24	-38
-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	-18	-16	小形山形鋼			26	6	1	33	-24
-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	-24	-25	中形山形鋼			23	9	1	33	-33
-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	-24	-32	溝形鋼			22	9	2	33	-39
-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	-24	-18	軽量形鋼C形			23	4	1	28	-21
-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	-15	-17	軽量形鋼広巾			15	3	1	19	-26
-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	-58	-71	冷延薄板			12	11	3	26	-65
-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	-56	-73	熱延薄板		1	15	14	3	33	-58
-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	-66	-76	表面処理鋼板			14	10	4	28	-64
-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	-70	-85	酸洗鋼板		1	11	13	6	31	-77
-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	-49	-64	中板		1	18	14	5	38	-61
0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	-63	-63	厚板			17	12	7	36	-72
0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	-50	-26	極厚板			16	3	1	20	-25
0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	-20	-32	縞板			25	2	2	29	-21
-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	-30	-39	中径角			22	8	2	32	-38
-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	-20	-24	ガス管黒			25	7	1	33	-27
-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	-20	-27	構造用鋼管			25	7	1	33	-27
-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	-35	-40	計	0	3	415	164	47	629	-41

6. コロナ禍で需要低調、先行き不安感増す

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	4月の形鋼の荷動きは前年並みとなった。新型コロナの影響としては今年予定の建築物件が1年先送りとなった。お客様への対面営業が制約されている。
	B	直接的ではないが、新型コロナウイルス感染が影を落とす。GWを挟んで異形丸棒の出荷が鈍い。弱含みの市況動向。
	C	新型コロナウイルスの影響は仕事量をみるとあまり感じられないが、この先の相場下落が心配である。
	D	新型コロナウイルスの影響から経済が低迷しつつある。投資意欲の減退と思われる。中小案件の中止や延期が散見されるため在庫量が伸びず、価格は弱含みと厳しい状況となっている。
東北	A	予想通りの減少だが、新型コロナウイルスの影響で弊社では止まった現場はない。これから新型コロナウイルスの影響が出るのではないかと。
	B	丸棒の新規物件の引合いは非常に少ない。
	C	5月連休のためか全体的に動きは悪い。4月の営業も自粛要請があり、思う様に活動が出来ず、今後、影響が出る懸念がある。
新潟	A	製造業関連の動きが悪い。荷は動かず、市況は下がり、在庫は増える。営業活動もままならない。安売りせず、今の仕事を大事にしたい。
	B	4月に入り、新型コロナウイルスの影響が散見される。大きな変化は連休明けと思われる。荷動き、単価ともに懸念される。
	C	新規案件は依然として少なく、倉出し(在庫品)の荷動きが非常に悪い。新型コロナウイルス感染防止の外出自粛で、営業活動にも制限があり、日々、感染予防対策に取り組んでいる状況。
	D	冬に出た物件を今こなししている状況である。今出ている物件が少ないため先行き不安である。人が来ない。外出できない。電話はならない。会合はない。情報が入らない。そして需要が少ない。
	E	自動車関連は50%未満の操業。その他業種も全く低調。
	F	新型コロナウイルスの影響で営業休止状態。現状はコメントしようがない。早急な正常化を望む。
	G	新型コロナウイルスの影響で自動車需要は落ち込んでいる。5~6月は更なる落ち込みを懸念。建築需要は一部で建築現場閉所の影響もあったが、概ね順調に推移できている。
神奈川	A	工作機械向けの支給材案件を受注したおかげで、5月の仕事はある状態だが、6月以降は仕事が薄い。民間建設、公共建設は安定して受注している。
	B	新型コロナウイルス感染防止の緊急事態が、いつ解除されるかによって荷動きが出てくると予想される。現況は新型コロナウイルスに影響のない物件で商売せざるを得ないので少量物件に限定される。すぐには改善されず、厳しい状況はもう少し継続される。
東京	A	一般材料の注文の電話はほとんどない。社内在庫を減らすなどしているが、5月、6月の見通しも悪い。
	B	一部の土木関連を除き、全品種低調。先行きは今までにない不透明感。

東京	C	もともと建築需要の落ち込みで販売量は低水準だったが、4月からは新型コロナの影響で取引先の活動水準が落ちており、販売量も更に落ちてきた。どこまで続くか不透明であり、与信不安は増大している。
	D	経済活動全体が休止しているので、売上、利益の悪化は仕方がない。今やれることをやるのみ。人と人の接触ができないので、従来やり方を見直すチャンス。支払いのやり方も手形⇒電債、小切手⇒振込に改善することによって手間が省けて経費が削減できた。
	E	都知事の延長パフォーマンスによって、ますます状況は悪化。モノづくりの現場では人とモノを動かすために自粛していたのでは稼働率は下がるばかり。ビジネスモデルを大きく変えていくには厳しすぎる。しばらく迷走は続く。
	F	浦安の鉄筋の店売りは3月まで通常。4月から影響が出始めた。5月現在は3割悪い。これは始まりである。この1年の間に鉄筋の価値形成をしていきたい。
	G	建築物件の一時中断がほぼ解消されたことにホッとしているが、その他分野は依然、減産継続のため先行きは悪い。コイルセンター及び工場を持っている所は固定費維持に苦しんでいる。
	H	新型コロナウイルスの影響が5月からより一層出てくると思われる。価格を大事にしていきたい。
静岡	A	静かなり鉄鋼業界、お得意様も世の趨勢に順次たりの感あり。やむを得ない状況である。鉄骨ファブはHグレード中心だが、図面打ち合わせ、行程打ち合わせと採取元の担当者で行っているようだ。本件は5月7日からコロナ禍に規制が緩み、特定地区ではないが、本来の自粛が問われる。経済優先の動きと共有できるか。楽観視が大半に思える。テレワーク等で変な差別化は生じないだろうか。大手建設現場は再開するも体温チェックなど大変である。店売りの二次流通の荷動きが悪いのではないか。コロナ禍による関連倒産件数は異業種になるが当県は4位だった。直接販売していないので詳しくわからないが、自動車関連業者がコロナ禍の影響を受けているとのこと。
	B	鉄骨建築は一部で延期、中心案件が出ているが、H、Mクラス中心に第2四半期までは堅調。但し、先行き不透明感は強くなっている。量産品はメーカーの休業を受けて非常に厳しい状況である。
石川	A	頼りにしていた土木建築もウイルスを避けるようにしぼみつつかある。日給月給ベースの外注、下請け業者への真剣な対策を考えて実行に移すのに良いきっかけになるように国民全体が前置きになるチャンスとするべし。
	B	工作機械、建機、バス（大型、中型、小型）は低調。配電盤は向上設備などに使用される盤は好調。物件は関東地区の物件が多い。発電機も好調を維持している。
富山	A	秋からの着工物件の見積りが少ない。国土強靱化計画向け、土木工事は堅調。JR各社の収支悪化が、北陸新幹線の着工スピードに影響が出ないと良いのだが。
	B	新型コロナウイルスの影響で稼働日数が減り、建方延期も聞かれ4月中旬以降、荷動きが悪かった。
岐阜		この地区の産業界は、これから新型コロナウイルスの影響が出て需要が減少し、厳しい状況になりそうである。先の予想が付かない。与信管理の徹底に努めていきたい。
大阪	A	ここへきて戸建住宅は、新型コロナウイルスの影響で失速気味。その他、民間中小物件も低迷しつつあり、先行きが見通せない。公共工事（土木）は予定されていたものが進んでおり、当面、公共土木工事に期待するしかない。

大阪	B	(建築) 新型コロナの影響で受注済の案件でも工事現場の受入れができず、ファブでは鉄骨が滞留。現場作業時の衛生アイテム(マスク、洗剤)不足。工事前に設置済の転落ネット強度の点検が必要。工場検査に際し、検査員が出てこない。ZOOMにて遠隔検査を試みるが通常2時間が4時間以上かかっている。2019年度の鉄骨需要は456万トンから10%落ちるとの予測も出ている。
	C	新型コロナウイルスの影響で先行き不透明。製造業関連は荷動き悪い。建築関連も荷動きはいまひとつ。終息までかなり時間がかかると思われる。
兵庫		GW後の市況動向が急速に悪化すると思われる。雇用調整助成金の利用を開始するタイミングになりそうだ。
岡山		某自動車水島の生産調整による影響が広くある。鋼材在庫は欠品が出てもいい覚悟で在庫量を考えている。
香川		香川県の新型コロナウイルスは小康状態だが、今後の経済状態がどうなるか不安である。建築、土木、建機、産機、造船とも下降傾向。コロナ終息後の景気対策に期待したい。(公共投資など)
福岡		新型コロナウイルスの影響から建築関連工事の中断や延期とマイナス要因が多く、実需は減少。自動車、建機関連は生産調整継続予定で鋼材需要は減速。全体的な停滞感と底が見えない状況もあり、先行きへの不安が増している。
北九州		新型コロナウイルスの影響により市中の荷動きは低調。市況もジリ安が続く。